



吉高人権だより

2021年 2月号

愛媛県立吉田高等学校 人権委員会発行

心にゆとりを

養護教諭 豊田 夢叶

二月も半ばとなり、日脚が徐々に伸びてきました。もうすぐ進級や進学・就職など、ステップアップする時期ですね。変化を控えた今、まずは様々な困難を乗り越えて今日もがんばって生きている、自分自身を認めて褒めてあげましょう。

保健室には、様々な理由で来室する人がいます。体調が悪い人、身長や体重を測りたい人、おしゃべりに来る人、心が元気な人、心が疲れている人…。理由はそれぞれです。教室ではみんな元気で楽しそう。なのに、気持ちや体が重たい感じがする…。自分だけ？と不安に感じることはありませんか。

新型コロナウイルス感染症が報道で取り上げられ始めてから約1年。私たちは予測できない不安の中で、今までに経験したことのない生活を余儀なくされました。さあこれからというときに、諦めなければならなかったことが沢山あったと思います。また、差別や偏見など、人間の見たくない一面が見えてしまうことも増えました。一つ一つの我慢はささいな小さなことでも、それが積み重なると大きなストレスになります。

私たち人間は、不安やストレスを感じて緊張が高まると、その原因を追究・解消しようとしめます。その過程で誤った情報や偏った考え方が加わると、誰かを責めようとすることがあります。不安やストレスを感じて心に余裕がなくなると、不確かな情報を見抜けず、自分自身も誰かを差別する当事者となり得るのです。

自分が心身ともに健康でいることは、自分自身の心地よさだけでなく、支えてくれている周囲の人を思いやる心にもつながっていると思います。自分では沈んだ気持ちが切り替えられなくて困っている人、思うようにいかない現状に戸惑っている人は、誰かにお話ししてみませんか。クラスや部活動の仲間、ゲームやSNSの友達、学校の先生。あなたが話しやすい人に声を掛けてみてください。また、困っていそうな人を見かけたら、声を掛けてみてください。誰かに「話す」ことは、不安やストレスを「放す」ことの第一歩です。みなさんが心にゆとりを持って、楽しく学校生活を送れるように応援しています。



人権標語

夏休みに全校生徒の皆さんから募集した人権標語の優秀作品を紹介します。

言葉には力がある	どんな力を込めるかは	あなた次第	1 E	笠岡 佑太
一時停止	周りを見て進もうよ	言葉の運転	2 G	加藤 碧
あなたの言葉	一つ変わると	未来が変わる	3 G 2	崎須賀美優

以上の3作品は、今年度の宇和島市の人権作品集「いのち」に掲載されています。

このほかにも、言葉を大切にしようという思いを込めた標語を多くの方が考えてくれました。また、いじめをなくそうという訴えや、思いやりの気持ちを持つとうというメッセージを伝えるものもありました。生徒の皆さんが作った標語は、校内の掲示版などに掲示しています。時々目を留めて、自分を振り返ってみてください。

「ぬくもり詩」

御家庭での御協力ありがとうございました。作品の一部を紹介します。



(上の句：子ども 五・七・五)		(下の句：親・祖父母・兄弟・友人など 七・七)	
1年生			
ひきこもり自肅と言って二度寝かな	水曜日この時だけは仲良しだ	父と母送り迎えをありがとう	花びらのような初恋聞いている
ぐうたらしてると牛になるぞ	二人で通う習字教室	一緒に過ごす大事な時間	明日で古希を迎える祖母の
2年生			
弟よこたつの中でけらないで	コロナ禍で帰省自肅を決めたけど	弟よ今日の晩飯おでんだよ	
姉ちゃんの足のばしすぎだよ	同じ空の下つながる家族	あつあつたまご僕がもらうよ	
3年生			
寒すぎてこたつの中は足いっぱい	お正月コロナで会えず親戚に	冬休み今年で最後お手伝い	たまにするお風呂の掃除くたくただ
寒いおかげで会話が弾む	新年あいさつ画面越し	一人暮らしも頑張ってるね	きれいになった明日も頼む

2月16日に予定されていた「吉田町人権をまもる集い」は、残念ながら今年度は中止になりましたが、「ぬくもり詩」は吉田公民館ロビーで展示されています。

いじめの問題に関する人権劇(ミュージカル)の配信についてのお知らせ



愛媛県教育委員会では、いじめ問題に関する人権劇(ミュージカル)をケーブルテレビで繰り返し放送する予定です。また、インターネットの動画サイトYouTubeでも1月28日(木)より配信しています。御家族皆さんで御覧ください。

【クッキー協奏曲^{コンチェルト}】 https://youtu.be/F7jAevASrGI		【Dreams are infinite～夢は無限～】 https://youtu.be/6n1HSWxiMSc	
--	---	---	---